



THE NORTH FACE EXPLORATION TOUR



写真家・石川直樹と行く 世界の8,000m峰14座 [エベレスト、ローツェ展望ハイキング12日間]

お申し込みは
こちら

12月5日締め切り

8,000m峰全14座の麓の文化や暮らしから
その山頂に至るまでを中判フィルムカメラを携え、
記録してきたTHE NORTH FACE Athlete/写真家 石川直樹。
このツアーで、石川氏と一緒にかの地を訪れ、
彼のその壮大な旅の記録と記憶の一端に触れてみませんか。

発着地	宿泊高度	出発日・帰国
東京	3,800m	1/12(月) - 1/23(金)
歩行時間	宿泊施設	旅行代金
約3時間 - 約8時間	ホテル／ロッジ	¥526,000

当ツアーにご参加いただく皆様には、THE NORTH FACE より、
ヒマラヤ遠征を支える選りすぐりのアイテムを特典として進呈いたします。

- 1 — BCダッフル M (NM82367)
数々のエクスペディションを支えてきた、優れた耐水性と圧倒的な耐久性を誇るダッフルバッグ。
- 2 — ヌブシーティーゾックス (NN82233)
足裏の滑り止めプリントと、銀イオンによる抗菌防臭加工を施した厚手のウインタールームソックス。
- 3 — ホライズンハット (NN42531)
紫外線防止と、頭囲周間に配置したベンチレーションメッシュパネルにより高い通気性を実現したハット。



1



2



3

※いずれの商品もカラーはお選びいただけません。



THE NORTH FACE EXPLORATION TOUR



峠から眺めたボルツェの村とアマダブルム



エベレスト街道は、シェルパ族の生活道路
でもある



五色の祈祷旗タルチョは、いつもどこか
で風に吹かれている



馬蹄形の谷に作られた、エベレスト街道
を代表する村ナムチエバザール

Message from
Naoki Ishikawa

「自分のヒマラヤでの経験を、写真や文章とはまた別の形で、現地に行って皆さんとシェアできるのは本当にうれしいです。ヒマラヤの移り変わりを見つめてきた自分にとっても、その後の14座を知る貴重な機会となり、ぼく自身がとても楽しみにしています。初めての方も歓迎しますし、この旅を入口にして、さらに深いヒマラヤ世界へと入っていってほしいな、と思っています。ぜひ一緒に歩きましょう」

—— 石川直樹

Profile



石川直樹・いしかわなおき／1977年生まれ 東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。高校2年生のときにインド、ネパールをひとりで旅して以来、都市の混沌から人を寄せ付けない極地に至るまでカメラを手に旅を続ける。毎年ヒマラヤの高所へ通い、中判フィルムカメラを携えて8000m峰に登頂、撮影することで、他に類を見ない無二の作品を生みだしている。2008年日本写真協会賞新人賞、講談社出版文化賞を受賞。2011年、第30回土門拳賞。著書に開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒險家』(集英社)ほか多数。

2016年に水戸芸術館ではじまった大規模な個展『この星の光の地図を写す』が、新潟市美術館、高知県立美術館、北九州市立美術館、東京オペラシティなどに巡回。同名の写真集も刊行された。こうした活動が評価され、2020年、日本写真協会賞作家賞を受賞。

2020年には『アラスカで一番高い山』(福音館書店)、『富士山にのぼる』(アリス館)を出版し、写真絵本の制作にも力を入れている。近年は、8000メートル峰14座すべてを撮影すべくネパールやパキスタンに通い、2024年10月に登頂したシシャパンマで14座を全座登頂を果たす。



THE NORTH FACE

THE NORTH FACE EXPLORATION TOUR

日程	発着地	スケジュール / 食事【宿泊地】
1 1/12(月)	東京：発 カトマンズ：着	午前、東京発、空路、クアラルンプールまたはバンコクで乗り継ぎ、ネパールの首都カトマンズへ。 機 機 □ カトマンズ泊 H
2 1/13(火)	カトマンズ：発 ルクラ：着／発 パクデイン：着 トレッキング 1日目	未明、専用車でラメチャップへ。国内線にて、空路、ルクラへ。または、カトマンズから、空路、直行便でルクラへ。トレッキング開始。ドゥードウコシ沿いの道をパクデイン(2,650m)へ(徒步約4時間)。夜、石川氏によるプレゼンテーションを楽しみます。 朝 昼 夕 パクデイン泊 L
3 1/14(水)	トレッキング 2日目 パクデイン：発 ナムチエ：着	トレッキングで谷沿いの道をジョサレ(2,840m)へ。世界遺産「サガルマタ国立公園」の入園手続き後、高度差600mの坂をゆっくりシェルバの里、ナムチエ(3,440m)へと登ります(徒步約5時間) 朝 昼 夕 ナムチエ泊 L
4 1/15(木)	ナムチエ滞在 トレッキング 3日目	エベレストビュートレッキング トレッキングで急な坂道をゆっくり登り、エベレスト、ローツェの名峰を望むシャンボチ付近へ。ホテル・エベレスト・ビューにも立ち寄り、その後ナムチエに戻ります(徒步約3時間)。 朝 昼 夕 ナムチエ泊 L
5 1/16(金)	トレッキング 4日目 ナムチエ：発 クムジュン：着	トレッキングで、エベレストやローツェを望みながら、シェルバ族のクムジュン村へ(徒步約3時間)。
6 1/17(土)	トレッキング 5日目 クムジュン：発 ポルチエ：着	トレッキングでクムジュンから3,950mの尾根を越えて、ポルチエタンガ(約3,600m)へ。ドゥードウコシ川の対岸の尾根を登り、ポルチエ(約3,800m)へ(徒步約3時間) 朝 昼 夕 ポルチエ泊 L
7 1/18(日)	トレッキング 6日目 ポルチエ：発 ナムチエ：着	クーンブクライミングセンター見学 午前、ポルチエにある「THE NORTH FACE」が設立に関わったクーンブ・クライミング・センターを見学。午後、トレッキングでナムチエに戻ります(徒步約6時間)。 朝 昼 夕 ナムチエ泊 L
8 1/19(月)	トレッキング 7日目 ナムチエ：発 ルクラ：着	トレッキングでルクラまで戻ります(徒步約8時間)。 朝 昼 夕 ルクラ泊 L
9 1/20(火)	ルクラ発 ラメチャップ：着 カトマンズ：着	ルクラから、国内線にて、空路、ラメチャップへ。専用車でカトマンズへ。または、直行便で空路、カトマンズへ。着後、専用車でホテルへ。 朝 昼 □ カトマンズ泊 H
10 1/21(水)	カトマンズ滞在	カトマンズにて自由行動。※フライト予備日。 朝 □ 夕 カトマンズ泊 H
11 1/22(木)	カトマンズ：発	午前、自由行動。午後、カトマンズ発、空路、帰国の途へ。 朝 □ 機
12 1/23(金)	東京：着	乗り継いで、空路、東京へ。 機 □ □

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

- 燃油サーチャージ(2025年10月20日現在:目安約32,000円)が別途必要です。
今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内します。
- ビザ=ネパール/申請料金9,400円(実費5,000円+申請料金4,400円、2025年10月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- 日本国内の空港施設使用料及び旅客保安サービス料、国際観光旅客税等は、旅行代金に含まれております。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはカトマンズからカトマンズまで同行します。
- 最少催行人数:10人(定員14名)
- 食事:朝10回、昼5回、夕8回
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。カトマンズ/マルベリー、チベット、ラディソン
- トレッキング中のロッジ泊は分宿となる場合があります。
- 人部屋利用追加料金:¥60,000(ロッジを含む)
- 利用予定航空会社:タイ航空、大韓航空、マレーシア航空、シンガポール航空

※石川直樹さんは日程1日目のカトマンズから日程8日目の朝、ナムチエまで同行します。

※トレッキング:現地ガイド、ポーターが同行。コックは同行しません。※行動範囲:2,650m~3,950m、最高宿泊地3,800m、高山病の影響やあります。※トレッキングに必要な寝具は全て現地で準備されています。※カトマンズ~ルクラ間の航空路線は、山岳地帯を飛ぶ定期航空便を利用します。天候条件や機材、その他の現地事情により、遅延やフライトのキャンセルなど、予定通りに飛べないことがあります。天候不順等の理由により、日程変更になる場合に新たに生じた費用につきましては、すべてお客様のご負担になります。また、定期航空便で飛べない場合には代替として小型ヘリコプターを利用することがありますが、その際にかかる利用航空機費用の差額はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

※現地カトマンズ合流、解散をご希望の方はご相談ください。

お問い合わせ・お申し込み



本社/〒284-0001 千葉県四街道市大日420-3 (八洲ビル2階)

043(290)9699 info@alpine-tour.com
www.alpine-tour.com

総合旅行業務取扱管理者 亀田広明